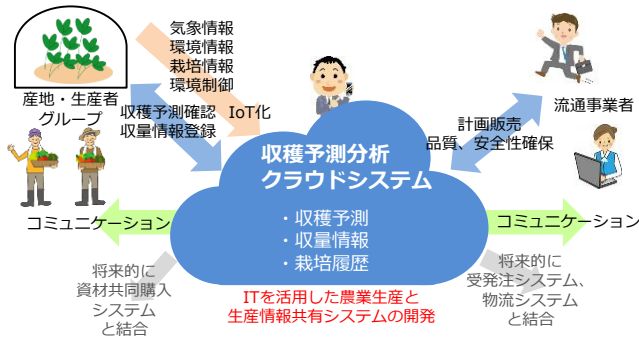


エコエネルギーシステムズ株式会社（いわき市、川内村）

農業生産物の高付加価値化生産、環境制御の先端技術利用による競争力のある県内農業ICT実証のモデルとして、高機能性野菜生産の収穫予測分析を中心としたクラウドシステムを開発する。

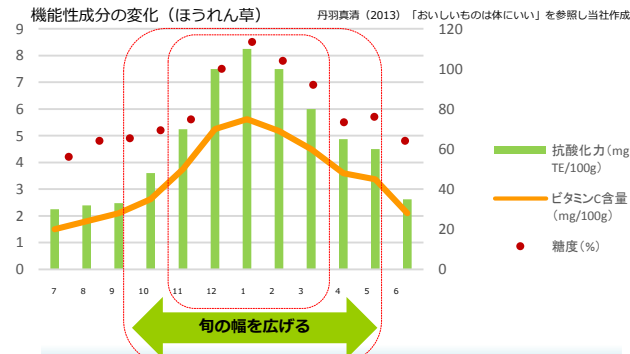
研究目的と背景

収穫予測分析機能を中心とした生産者と流通企業向けクラウドシステムを開発（生産者が共同で出荷体制を組める仕組みと流通を巻き込む仕組みの構築）



ITを活用した農業生産と生産情報共有システムの開発

研究内容



栽培環境を制御し、旬の時期の幅を広げる

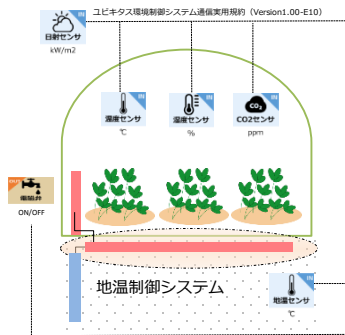
付加価値の高い農産物の供給期間を拡大し、収量と競争力を拡大

生産者、販売者とも利益機会が増える

当事業は浜通り地域の農業生産者、県内の中山間地での生産者の安定的な生産と販売を目的に、生産者のグループ化をクラウドシステム上でを行い、生産物の集約確保と流通事業者との取引が可能な仕組みを構築する。これらにより、農業生産量（生産者数）を増やし、県内農産物の品質の高い生産物を流通させることを目標としている。

環境制御と分散生産地化による生産管理が可能なグループ生産、計画販売がよりし易い仕組みを実装した農業クラウドシステムにより儲かる農業生産方式を目指す。

研究成果



●センサーによる環境計測のモニタリング、計測値の複合条件での機器制御システムの開発



●地温制御による収量の検証と生産物の中身成分の分析による収穫最適時期の検証（データ収集、検証を継続的に実施）



項目	環境制御区	慣行区
収穫量 (kg/10a)	45.0	35.0
収穫時期 (日)	10/15	11/15
収穫時期の幅 (日)	15	10
収穫時期の長さ (日)	10	15
収穫時期の中心 (日)	10/25	11/15

開発した農業クラウド（収穫予測分析システム（仮））

機能性成分分析

事業化計画（予定）

H30年度

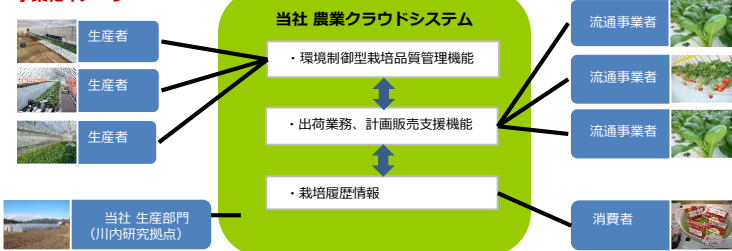
H31年度

システム化開発完了
試験運用
試験生産開始

農業生産
グループ化

流通事業者
との連携

事業化イメージ



開発スケジュール

<平成29年度>

- ・拡張した試験規模での葉物野菜生産モデル化、栽培データ収集
- ・収穫予測分析クラウドシステムの二次開発完了
- ・生産管理、栽培履歴情報等の開発

<平成30年度>

- ・生産規模での葉物野菜周年栽培、栽培データ収集
- ・収穫予測分析クラウドシステムの運用試験、評価

開発・実施内容	H29年	H30年	H31年
拡張規模での周年試験栽培データ収集、分析	○	○	
収穫予測クラウドシステムの二次開発	○		
生産管理、栽培履歴情報機能の開発		○	
収穫予測クラウドシステムの運用試験		○	
農業生産グループ化		○	○
流通企業との連携			○